

「総ぐるみ」新聞

NPO 総ぐるみ福祉の会事務所は、日限山 4・45・10（八四六―八八五〇）
入会や活動のお問い合わせ先は、事務所または「日限山荘」 日限山 4・7・1

日限山物語 おじいさんはコーヒー店長

作 ささじしんぞう

総ぐるみ喫茶店

《きむら・コーヒー》

毎週木曜日午後1時～4時 事務所で開店

NPO 総ぐるみ福祉の会は、毎週木曜日の午後、事務所で気軽にコーヒーを楽しめる木村マスターと細谷マスターによる《きむら・コーヒー》を開いています。

◎きむら・コーヒー体験記

日限山荘は8月中お休みでしたが、「きむ



ら・コーヒー」は8月もお休みなしでした。日影もない強い照り返しの中を、「こんな暑い日にコーヒーなんて」と内心呟きながら事務所に入ると、中はひんやり涼しく、皆さんが笑顔で迎えてくださいました。木村さんが「どうぞ」と、コーヒーを入れて下さり、お菓子と共においしくいただきながら雑談に花が咲き、楽しいひと時を過ごしました。

これからは涼しくなるので、「きむら・コ

しれないが、言ってくれるので嬉しかった。こんなに喜んでくれるならと精々邪魔をかえりみず続けたら、宮崎さんから「きむら・コーヒーを」との話があり、より多くの方に飲んで頂き、歓談の場となつて欲しくて、まずコーヒーを始めました。これからも美味で「綺麗な」コーヒーを心掛け、続けたいと思いますので、どうぞ「きむら・コーヒー」のご利用をお願いします。（木村和夫）

ーヒー」に行くのが楽しみです。ひとこと言わせていただければ、椅子の座り心地がいまいちなのが残念です。（近藤キヌ）

◎マスターの弁

或る時、事務所で挽き立ての珈琲を飲んだ。淹れてくれた宮崎さんの娘婿さんに、いろいろ尋ねて、私も是非作りたい。早速、ヤマダ電器でミルを買い、事務所で試飲していただき、小野さんや松尾さんが「美味し」と半分お世辞かも知

被災地支援報告

「やりましょう盆踊り」にぎやかに終了

◆河北新報社の盆踊り支援

宮城県の方紙、河北新報グループでは、東日本大震災で被災した方達の盆踊り開催をサポートして、コミュニケーションづくりを後押しする「やりましょう盆踊り」を昨年から行っています。

今年の盆踊りサポートのために、浴衣などが盆踊り用品を送ってほしいという呼びかけが、宮城県山元町を訪ねた折に知合った、河北新報社の与野珠美さん(後輩同窓生)よりありました。

当NPOでは、5月発行のNo.91の新聞で呼びかけを行い、男・女・子供用の浴衣、帯・腰ひも・下駄などが多数集まり、6月下旬に送り届けました。この場をお借りして、ご協力いただいた方々に御礼申し上げます。

このたび与野さんより、今年の様子を知らせる報告が届きましたので、紹介します。

◆今年5カ所で開催、充実した支援が実現

7月下旬から始まった盆踊りは、今年も昨年同様天候に恵まれ、宮城県内の東松島市では2カ所、名取市1カ所、山元町隣の亘理町1カ所、8月18日に石巻市の5カ所で、事故もなく無事終えました。

浴衣などの支援は、横浜市のNPO総ぐるみ福祉の会や日本女子大「衣の会」の呼び掛けの力は大きく、昨日は3箱、今日は6箱と続々と段ボール箱が届き、大人・子ども用合わせて約一五〇着の浴衣が集まりました。

浴衣の多さもさることながら、下駄・帯や小物類を多く集めてくださったのは、たいへん助かりました。そして多くの手作りの腰ひも！小箱の蓋を取ったとき、手触りの柔らかい、白の腰ひもがきれいに納められた様子が目に飛び込んできた時は、浴衣の山に対する「これで希望枚数はかなえられそう」という安堵感とはまた異なる、「ここまでしてくださってありがたい」という思いに浸りました。大変なお手間だったろうと思います。

今年は、勤務先の社員ボランティア促進基金から支出してもらえたので、さらに帯・下駄・腰ひもを買い足し、「浴衣に帯と腰ひも2本、あれば下駄」を1セットにして、開催地にお届けすることができて、昨年より各段に充実した支援ができました。

◆浴衣を受け取った側の反応
被災した方は沿岸部で漁業や農業に携わっていた方が多く、「和箆笥ごと波にさらわれて1枚もない」という豪勢な着物好きもいらつしやれば、一方で「浴衣を着たのは生まれて初めて」という方も珍しくないようです。東松島市赤井柳地区では、事前の踊り練習会の際、一人の方が寄ってきて「好きな着物を一切合財無くした。また浴衣を着られて本当にうれしい、ありがたい」と言われました。約千三百人お住まいの亘理町公共ゾーン仮設住宅には、大人用一〇〇着、子ども用60着を届けました。自治会役員さんたちは「暑いし、みんな着てくれるかな？」と心配して

いましたが、当日の抽選会は長蛇の列。当たった人は集会所に並べられた浴衣セットから色柄を選び、着付けてもらう表情は興奮で「いいねえ」「似合う」「すてき」と声を掛け合い、暑い暑いと言いつつ、盆踊りの風情を楽しんでいました。



「やりましょう盆踊り」ブログをご覧ください。
<http://flat.kahoku.co.jp/u/bon-odori/>

被災地支援

「毛糸」供出のお願い

未だ仮設住宅に住む山元町の方々は、長い冬の間、仲間が集会所に集まり、編物をしながらおしゃべりを楽しまれるようです。不要の毛糸(残り糸、編み直し糸など)を、今年もぜひ送り届けたいと思いますので、ご協力をお願いします。